

上海日本商工クラブ会員の皆様、2024年度の上海日本商工クラブ理事長を拝命しております、三井住友海上火災保険（中国）の西川真吾です。

4月に上海に赴任してきたばかりですが、北京に8年、広東に7年の駐在経験があり、中国ビジネスには長く携わっております。本クラブが民営非企業組織として上海市に正式に認可されて20周年という節目の年に身に余る重責に改めて身が引き締まる思いです。

甚だ微力ではございますが、重責を全うすべく努めて参る所存です。会員の皆様には何卒ご支援賜りますようお願い申し上げます。

さて、まず中国の経済状況、日系企業を取り巻く事業環境に関して、私がここで述べるまでもありませんが、3月の全人代では、2024年のGDP成長率の目標が5%前後と意欲的な設定がなされましたものの、不動産不況や個人消費の伸び悩みなどにより経済の先行きは不透明で、我々日系企業にとっても大変厳しい事業環境にあります。そのような中、中国はデジタル先進国として新たなデジタル技術を活用したサービスの開発が急速に進んでおり、我々もビジネスや仕事の在り方を見直していく必要性を感じています。

厳しい経済・ビジネス環境ではありますが、昨年11月のアメリカでの両国首脳会談、今年1月の日中経済協会合同訪中代表団の訪中によるハイレベルでの対話を通じて、徐々にではあるものの、日中間の交流・ビジネス推進の機運が醸成されてきているものと考えています。上海に来て間もないですが、上海・中国各地からも日系企業と仕事したい、といったお声がけを頂くことも多くあります。

2024年の活動計画として「会員の皆様の事業環境の向上」「日中両国の民間交流の促進」「積極的な情報発信によるプレzensの向上」の3つの方針を掲げています。世界最大の在外の日本人商工会議所組織として、それに相応しい、会員の皆様のビジネスの発展に有益な活動を展開していきたいと考えています。

私は、中国の歴史や名所巡りが好きで、中国の世界遺産はすでに全種類廻りました。各地の文化、そして何よりも人々と深く触れ合うことで、自然と中国への理解が育まれ、同時に、強い思い入れも持つようになりました。

在上海日本国総領事館やJETROをはじめとした関係諸機関や会員の皆様と積極的に意見交換し、共に考え、力を合わせて、情熱をもって取り組んで参る所存です。

引き続き皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、会員の皆様のご健康と事業活動の益々のご発展を祈念し、理事長就任の挨拶とさせていただきます。

2024年5月10日

三井住友海上火災保険(中国)有限公司 董事 総経理

西川 真吾